

# 中国の水産貿易と トレーサビリティシステム

2011年2月16日

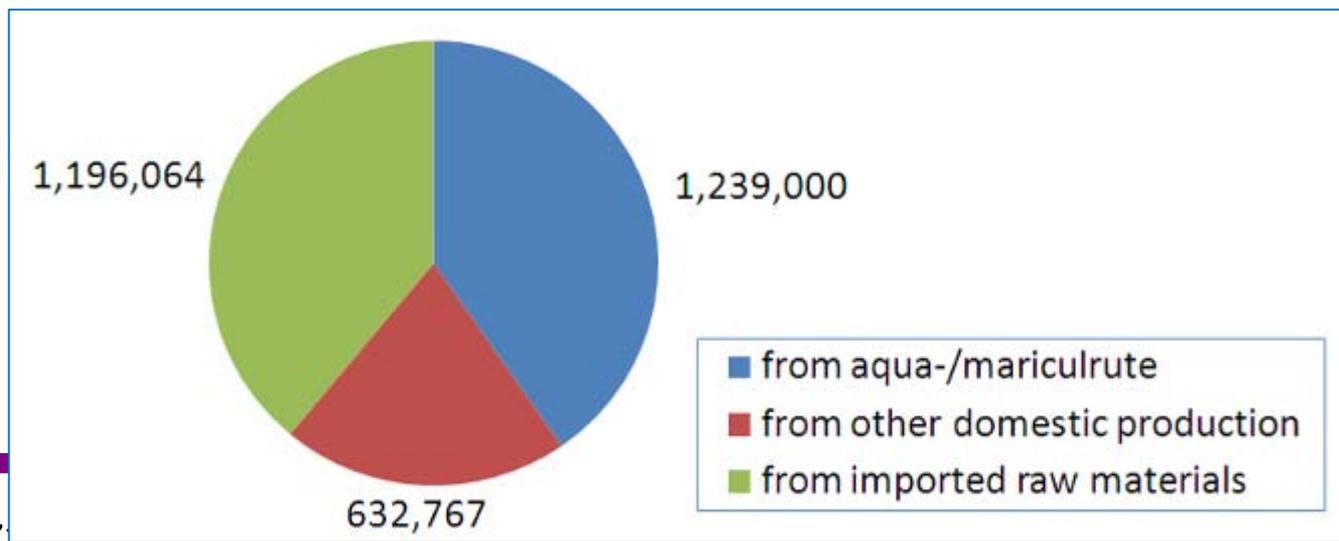
ジョイス・ウー

**TRAFFIC**  
the wildlife trade monitoring network



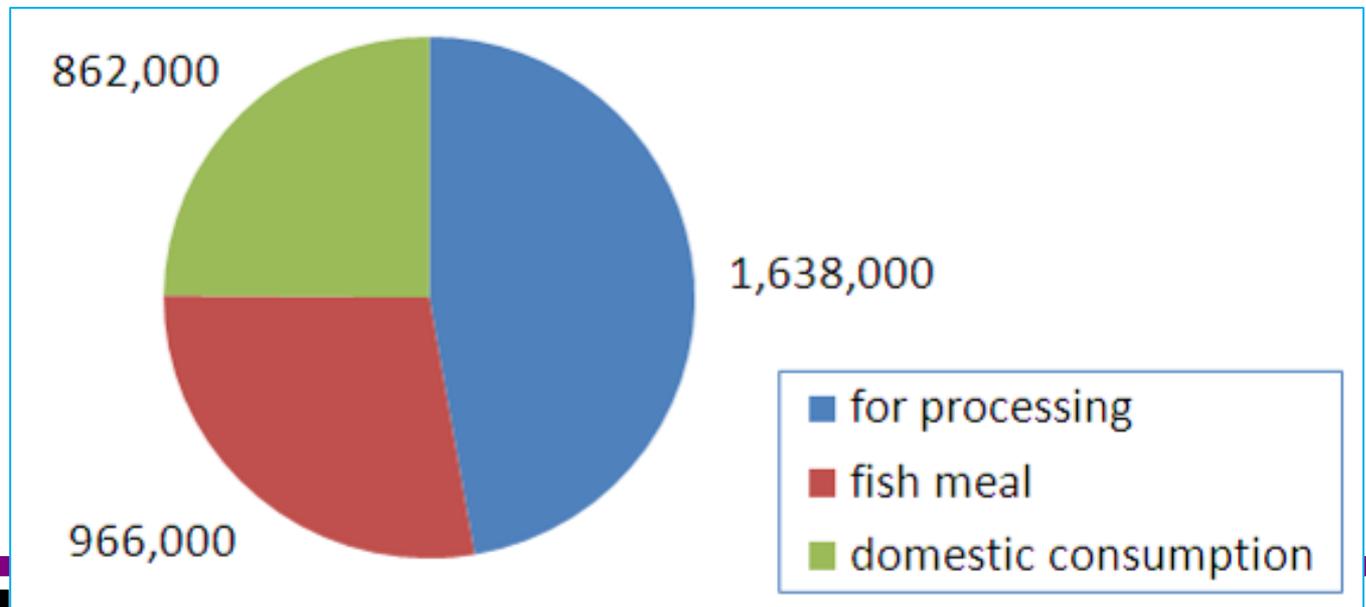
# 中国は水産品の世界的な主要輸出国

- 中国の輸出水産物のうち、国内養殖産が40%。
- その他の国内生産物（例、淡水での漁獲物）が21%。
- 輸入原料による水産物が39%。



# 中国の水産物の輸入

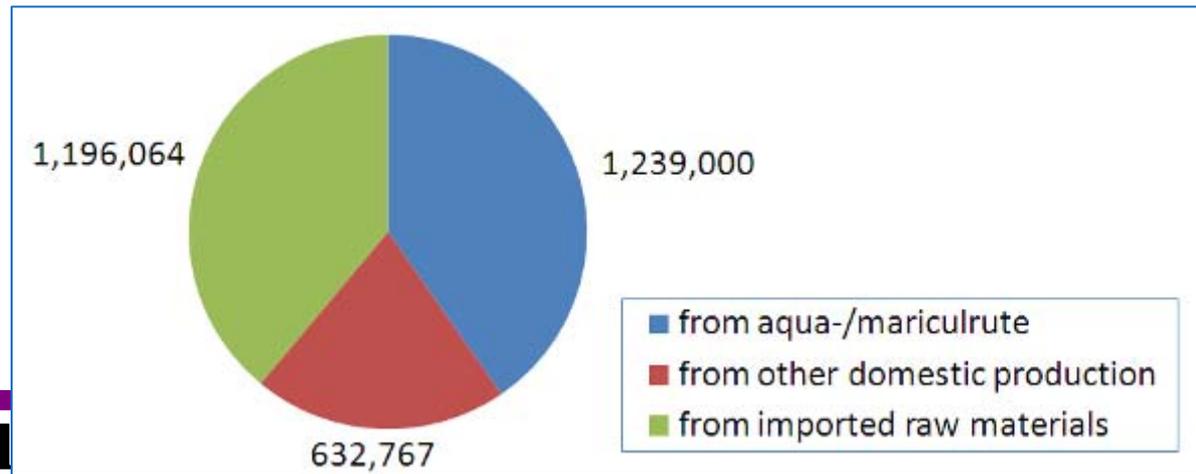
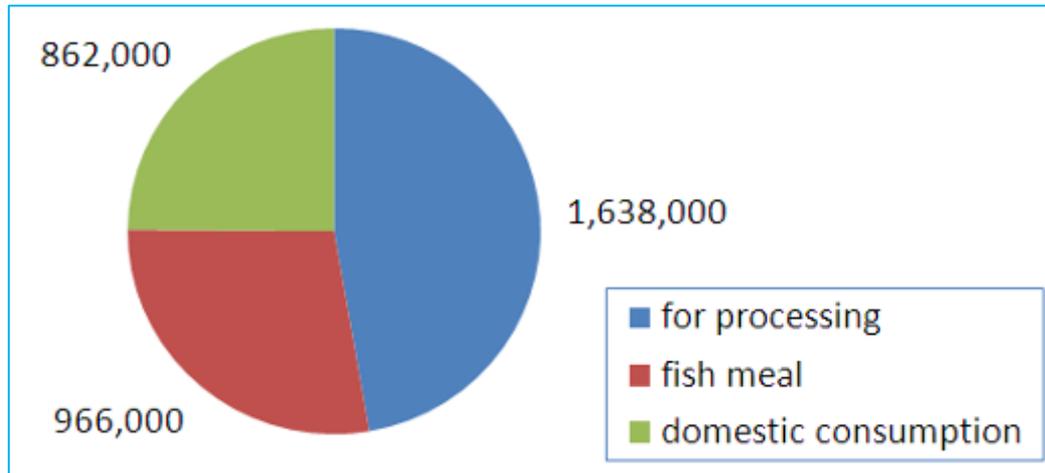
- 輸入水産物のうち、加工原材料が47%
- 魚粉が28%
- 国内の消費者向け食用魚が25%



Source: Clark S. (2009)

# 再加工生産量

- 再加工による生産量率は、0.73。

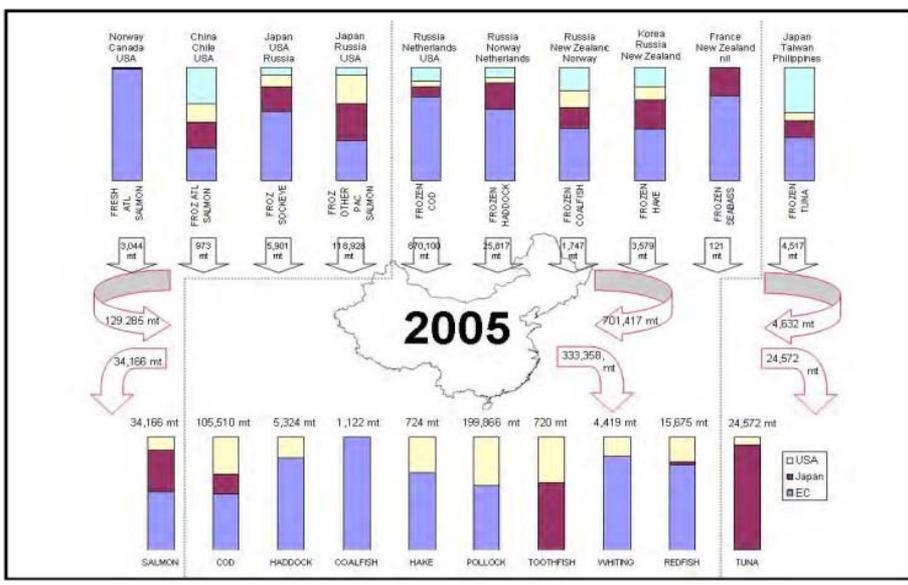
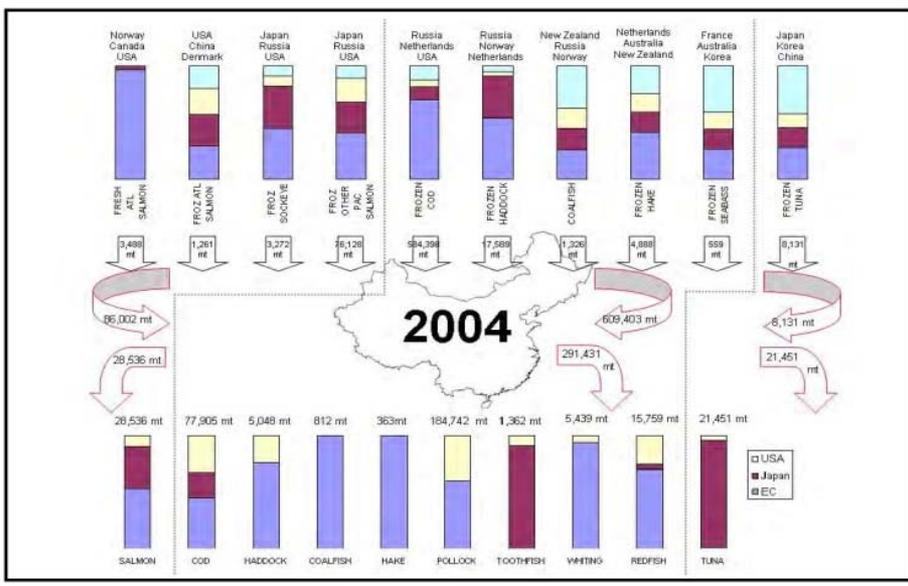


# 再加工品の主要な魚は サーモン、ホワイトフィッシュ、マグロ

- サーモンやホワイトフィッシュ製品は、原料の大部分を輸入に頼っている
- タラやアラスカ産スケトウダラは、輸入原料と輸出用加工品として3/4の比重を占める
- 中国における再加工生産量は、報告されているアラスカ産スケトウダラ、大西洋・太平洋産タラの全世界漁獲量の16-19%を占める（これは全体量の第一加工生産品割合が67%、また第一加工生産品の切り身生産品割合が70%であることに基づいている）

Figure 1a (upper figure) and 1b (lower figure)

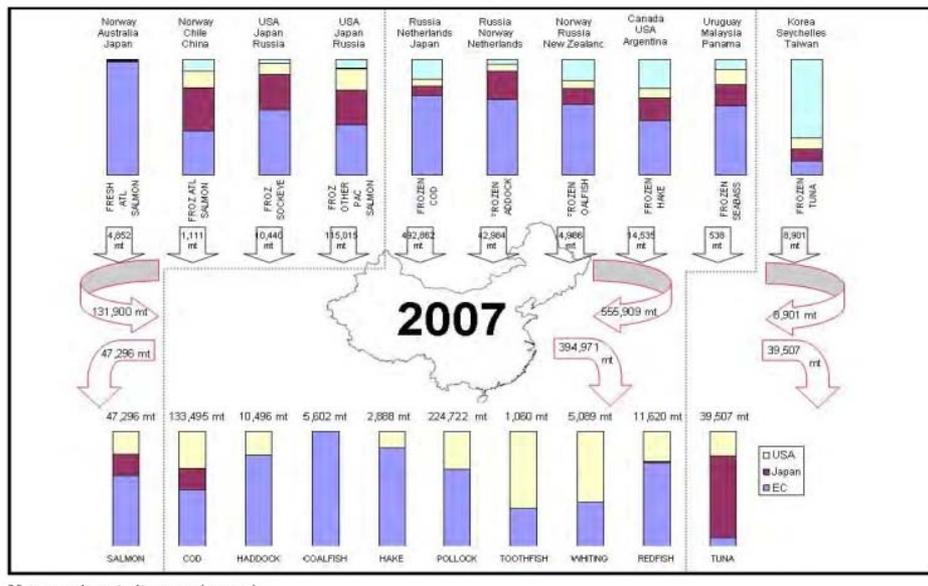
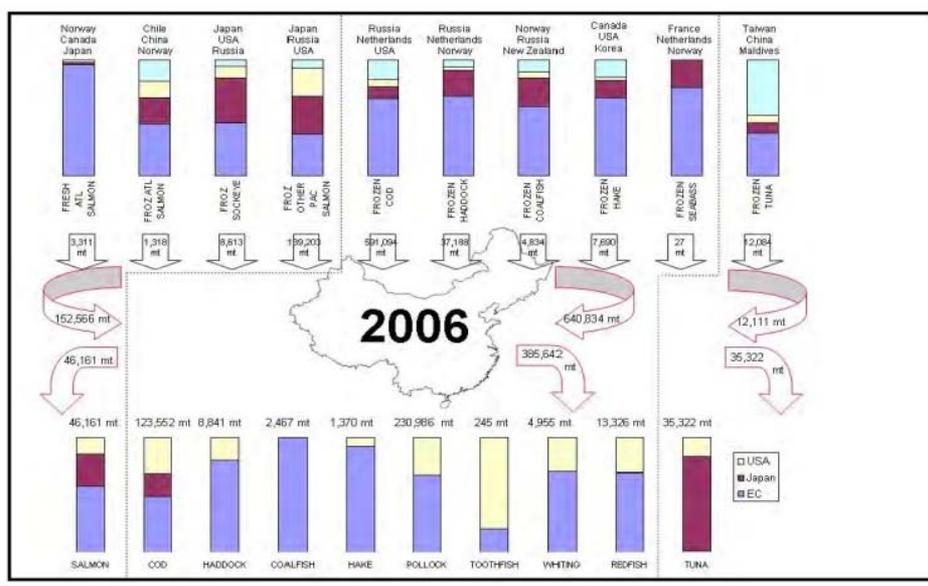
China's imports of unprocessed fish (upper panels) and imports of processed fish from China by trading partners (lower panels) in 2004 and 2005, respectively



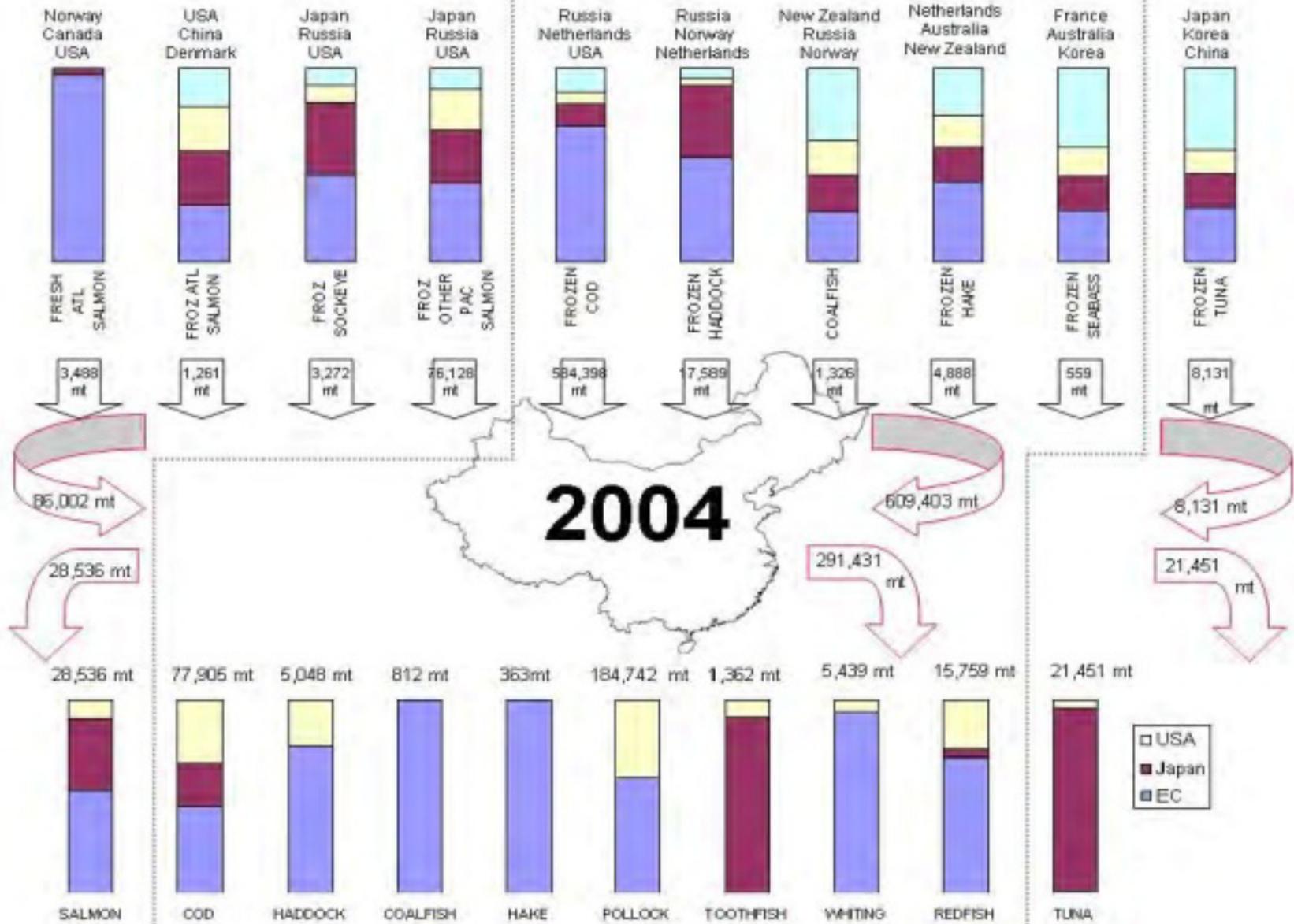
Note: mt here indicates t (tonnes)

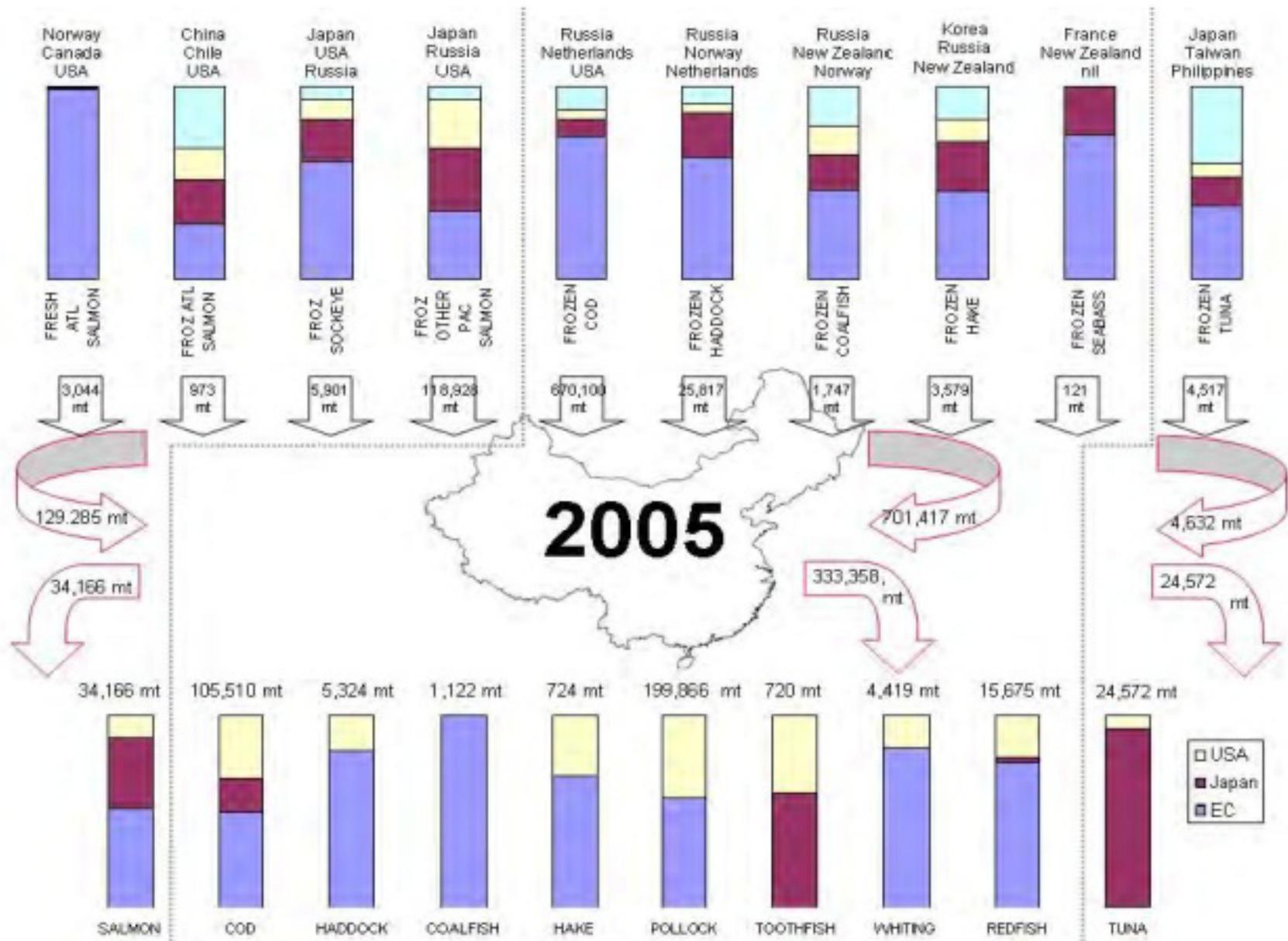
Figure 1c (upper figure) and 1d (lower figure)

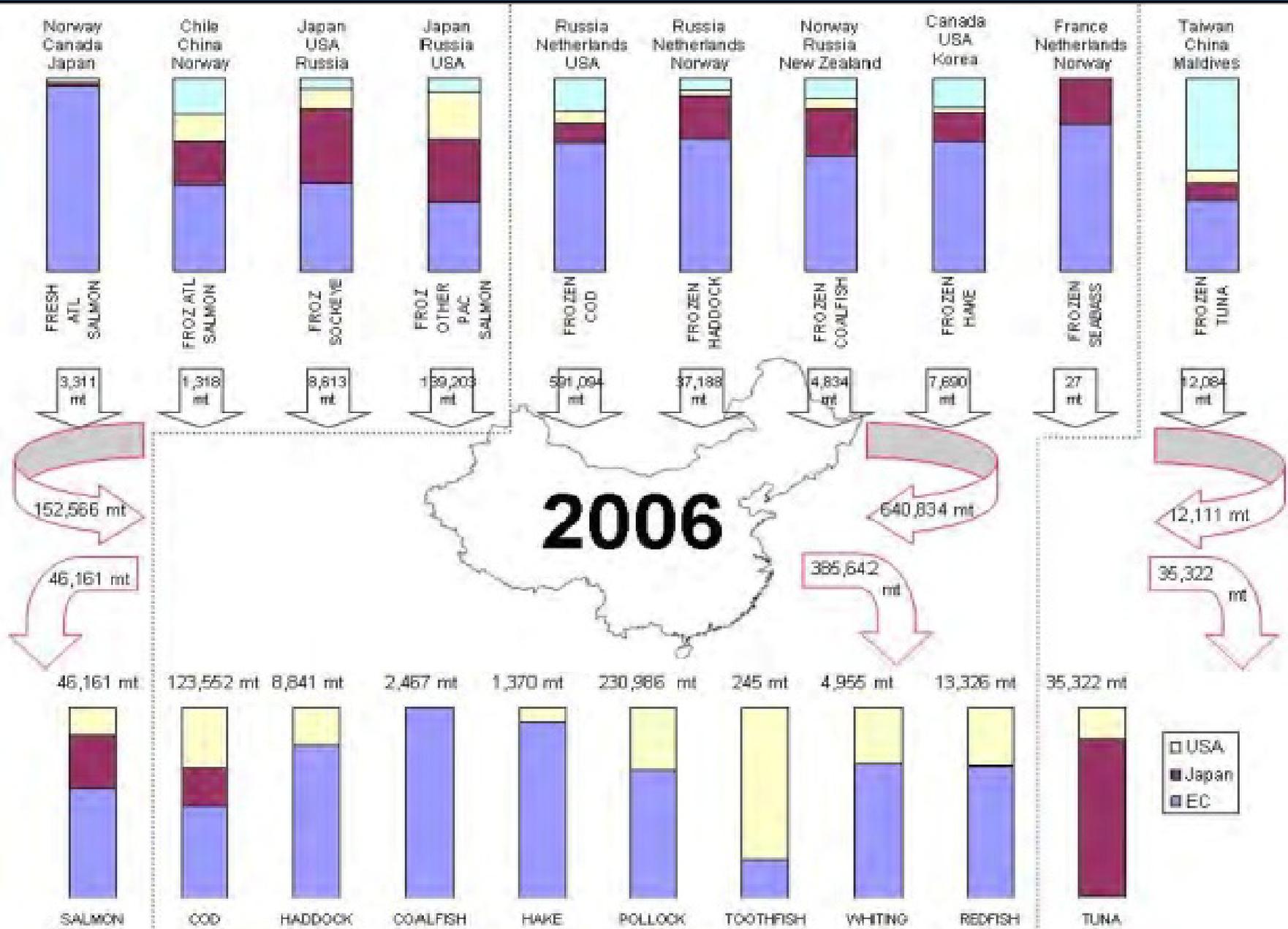
China's imports of unprocessed fish (upper panels) and imports of processed fish from China by trading partners (lower panels) in 2006 and 2007, respectively

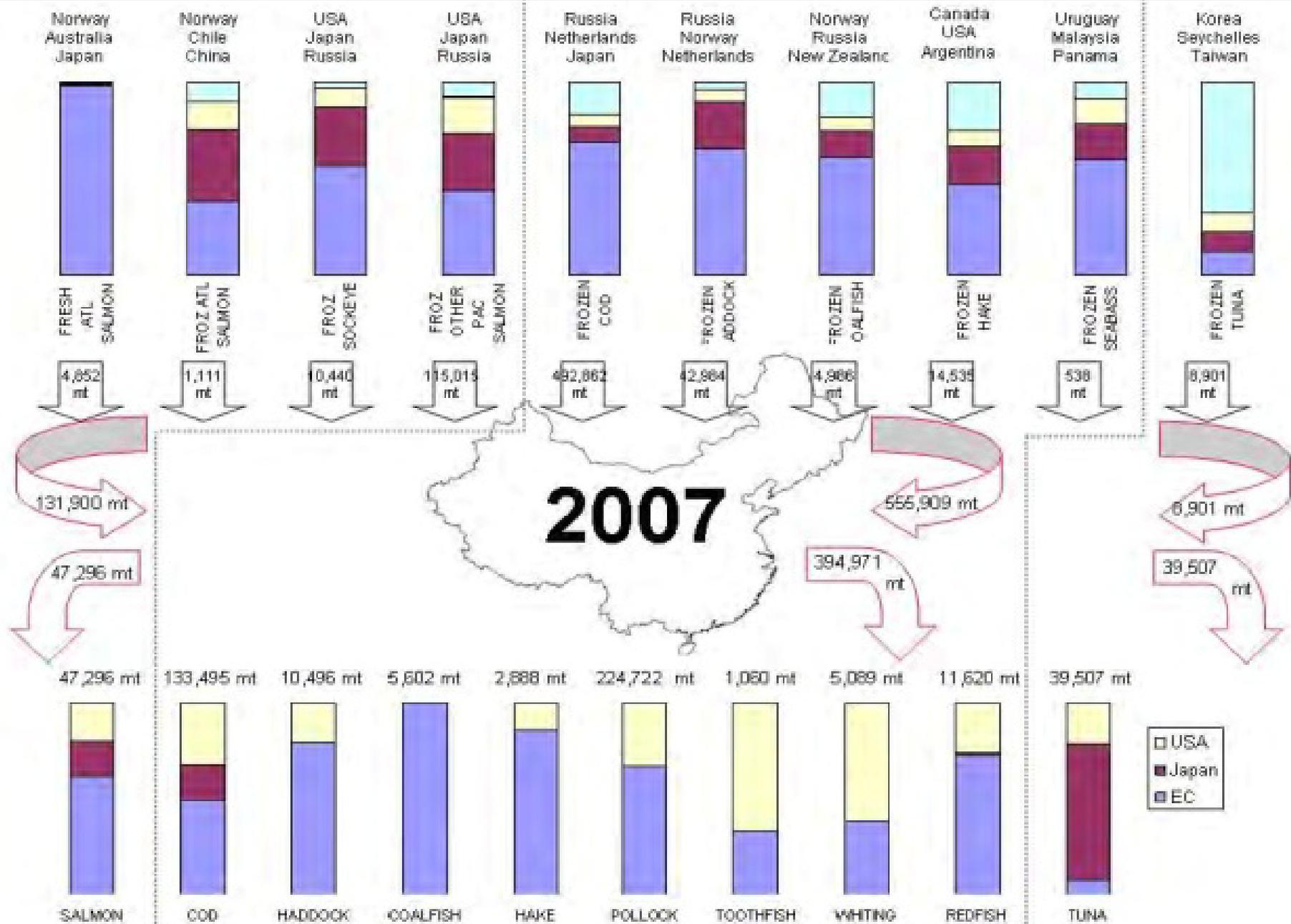


Note: mt here indicates t (tonnes)









# ロシアは、再加工水産物貿易のための 最大なる原料供給国

- 中国が輸入した97%の原料（サーモン、ホワイトフィッシュ、マグロ）は、10カ国から供給された。
- その内ロシアからは57%輸入され、またその87%は冷凍タラが占めた（スケトウダラを含む可能性あり）。
- 日本の次にオランダ、アメリカが続ки、6-12%を占める。
- 韓国、ニュージーランド、カナダ、ドイツ、チリは4%以下。
- ロシアは「特定されていない冷凍魚」も1/3提供していた。

# 再加工水産物の主要マーケットは EU、米国、日本

- 中国の水産加工品の83%はEU（37%）、米国（25%）、日本（21%）へ輸出された。
- 様々な市場で受け入れられた水産再加工品の主要カテゴリー。

日本	EU	米国
<ul style="list-style-type: none"> <li>● マグロ</li> <li>● タラ、スケトウダラ</li> <li>● メロ（2004 - 2005）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コダラ、ギンダラなど、メルルーサ、スケトウダラ、レッドフィッシュ</li> <li>● ホワイティング（2004-2006）</li> <li>● サーモン、タラ（50%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スケトウダラ、メロ</li> <li>● タラ、コダラ、メルルーサ、ホワイティング、レッドフィッシュ</li> </ul>

# 中国の水産加工の中心地

- 遼寧省 大連
- 山東省 青島

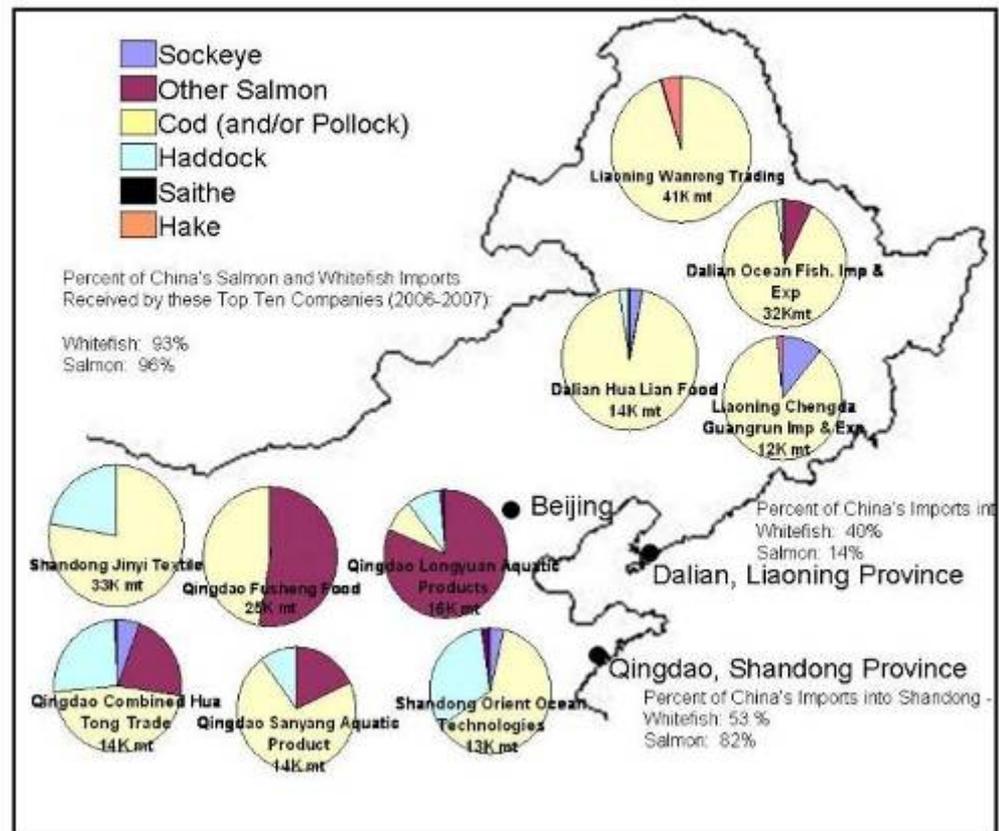


# サーモン、ホワイトフィッシュ再加工 中国内トップ10企業

- ホワイトフィッシュの93%、サーモンの96%は大連と青島を拠点とするトップ10企業により加工。

Figure 5

Quantities of salmon and whitefish imported by the top 10 receiving companies in China for 2006–2007. The average annual quantity is annotated beneath each company's name; each sub-graph shows the species composition for 2006–2007



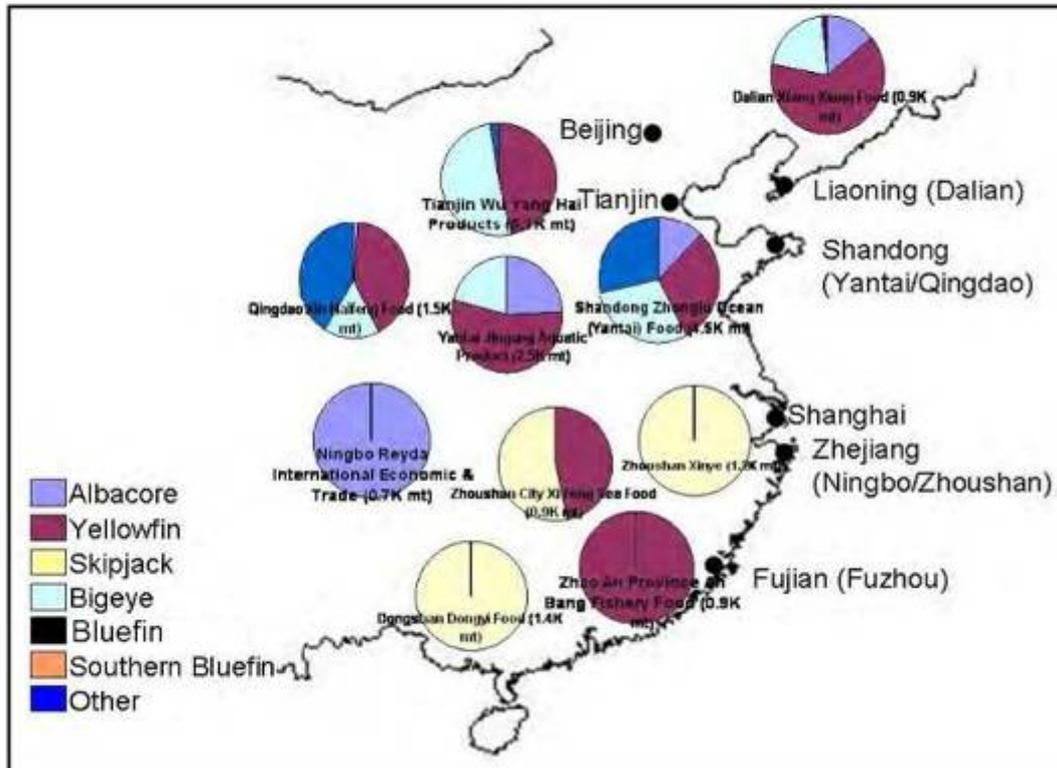
Note: mt here indicates t (tonnes)

# マグロ再加工 中国内トップ10企業

- 輸入されたマグロの99.5%は冷凍
- うち3/4はキハダ(34%)、メバチ(22%)、ビンナガ(16%)
- 97%の生鮮マグロは航空便で主に上海地区に輸入された

Figure 6

Quantities of frozen tuna imported by the top 10 receiving companies in China for 2006–2007. The total quantity for 2006–2007 is annotated beneath each firm's name; each sub-graph shows the species composition for the same two-year period



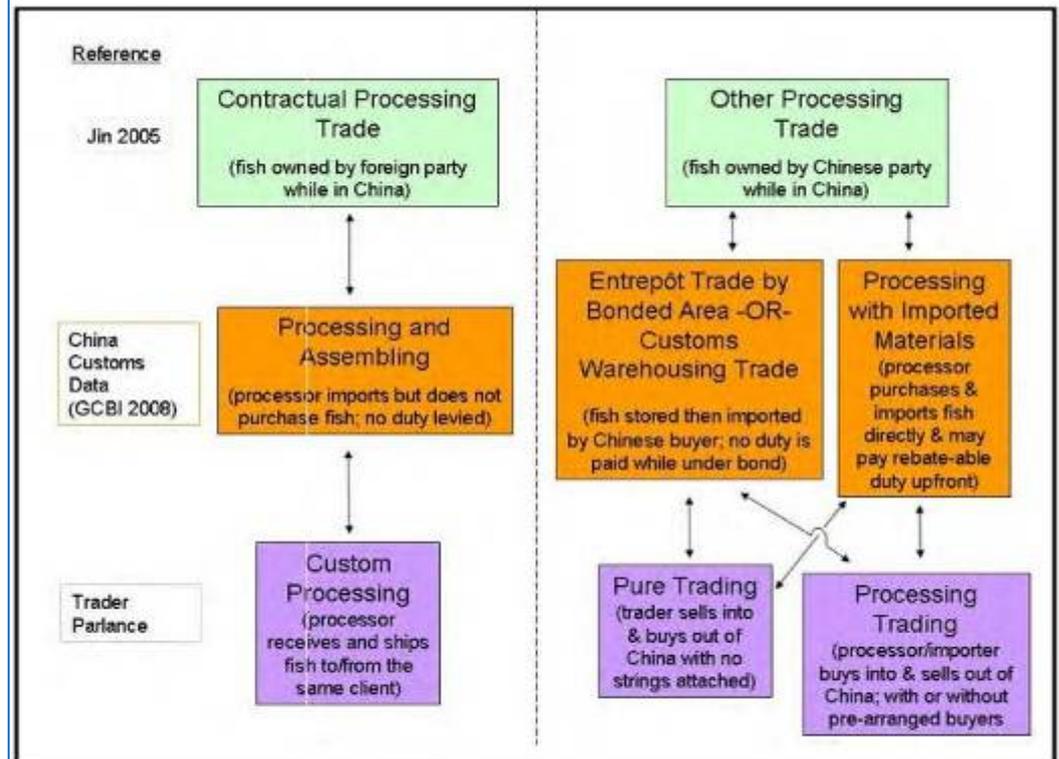
Note: mt here indicates t (tonnes)

Source: GCBI, 2008.

# 中国再加工貿易のビジネス・モデル

- 外国資本 vs 中国資本
- 輸入無関税 vs 戻し減税

Terminology used to describe the various categories of imports by which fish raw materials enter China for processing



Note: Despite the impression of fixed models given by this diagram, it should be noted that some processors may be using more than one system at the same time.

Source: Jin, 2005; GCBI, 2008; and interviews (this study).

- 再加工用に中国で使用される原料のサーモンとホワイトフィッシュの60-70%は、中国資本の会社で加工。
- マグロ加工の70-85%は、外国資本の会社で加工。

% of shipment (% of trade by WT)	Salmon	Whitefish	Tuna
Processing with imported materials (i.e. processing trading or pure trading)			
2006	0.53 (0.62)	0.64 (0.75)	0.10 (0.20)
2007	0.48 (0.56)	0.63 (0.72)	0.14 (0.22)
Processing and assembling (i.e. customs processing)			
2006	0.37 (0.28)	0.30 (0.19)	0.86 (0.76)
2007	0.38 (0.30)	0.29 (0.20)	0.81 (0.73)
Customs warehousing			
2006	0.06 (na)	0.04 (na)	0.01 (na)
2007	0.09 (na)	0.05 (na)	0.04 (na)
Entrepot trade by bonded area			
2006	0.04 (na)	0.02 (na)	0.04 (na)
2007	0.04 (na)	0.03 (na)	0.01 (na)

Source: Clark S. (2009)

# 再加工貿易に関する規制

- 中国税関（CCA）は水産加工品がTPMs（貿易手続きに関するマニュアル）にのっとして再輸出されているか監視している
  - 輸出入量の割当の適応
- CIQ（中国国産品質監督検験検疫総局の地方事務所）
  - 原料別バッチ番号
  - 個別のロット番号
  - 別のバッチとの混在を避ける
  - 輸出申請書に既存のバッチ番号及び輸入申請番号を記載する

# 水産再加加工貿易のトレーサビリティ

- 輸入要件

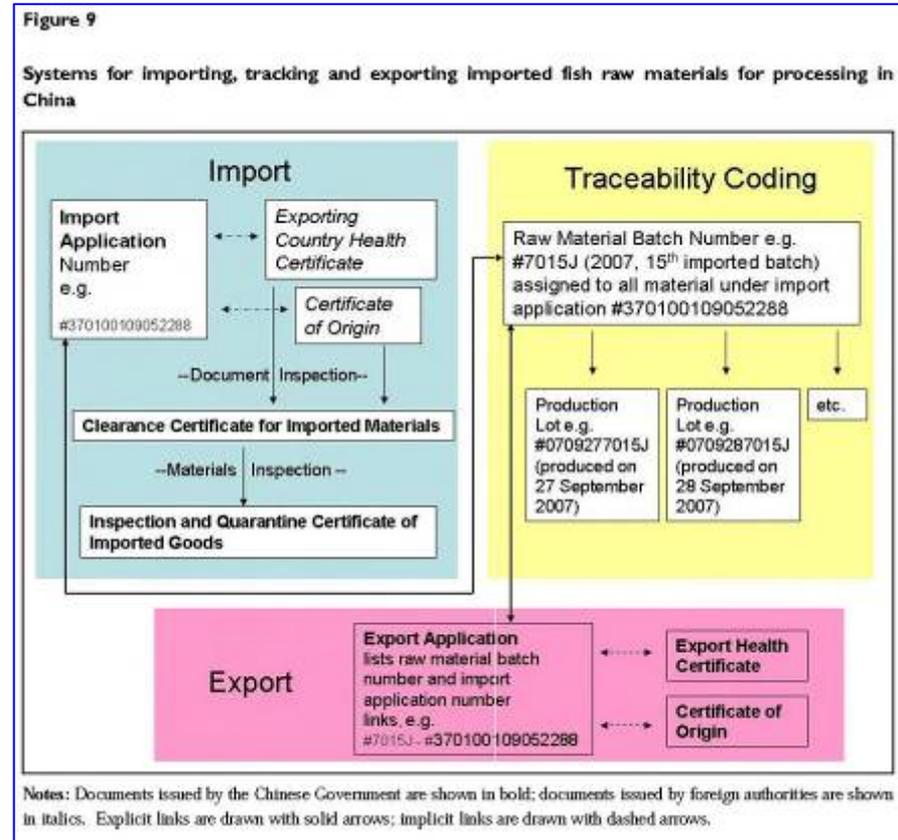
- 輸入申請書
  - 衛生証明書
  - 原産地証明書
- 現地監査

- 中国内でのトレーサビリティ

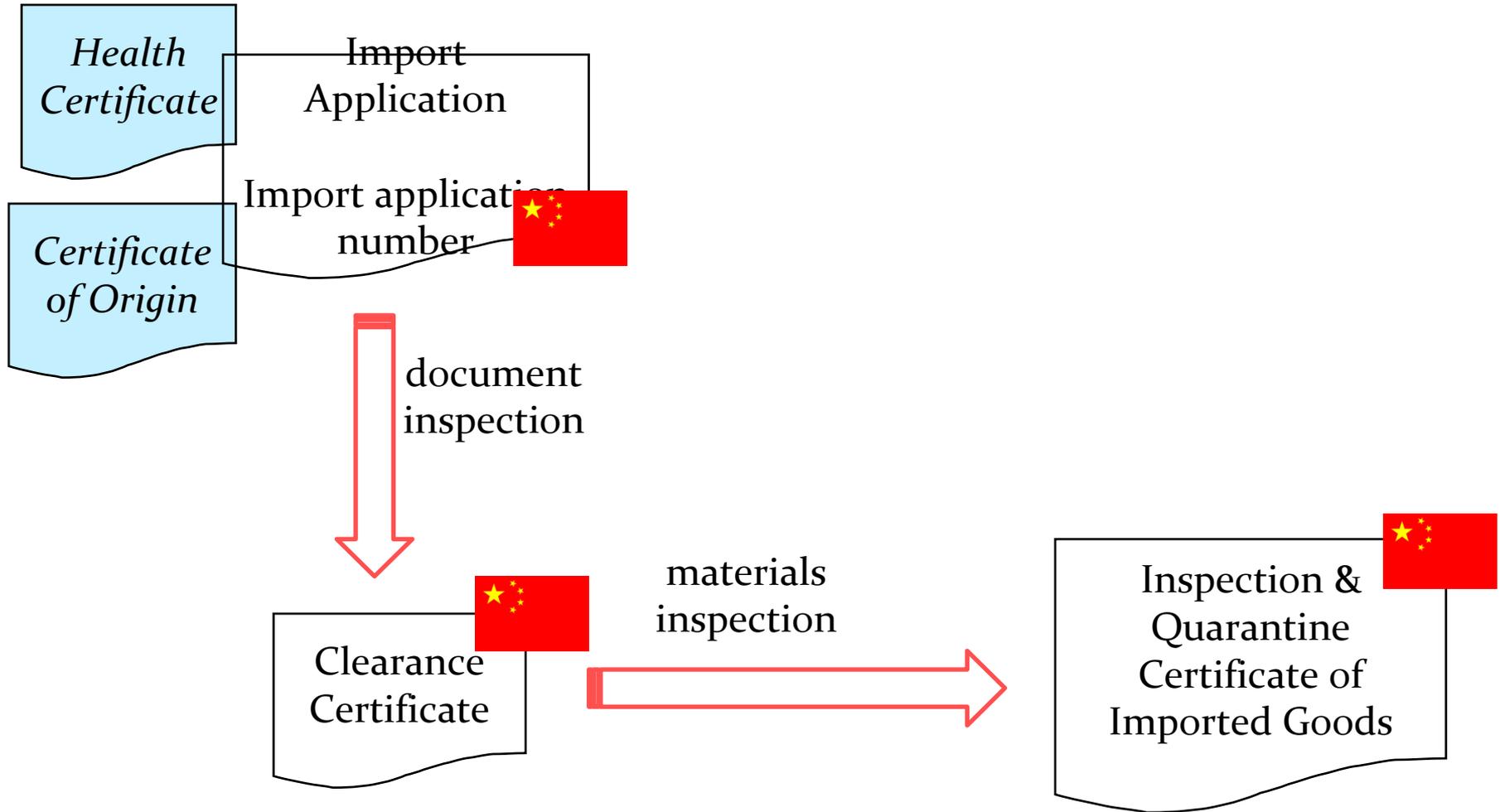
- 原料バッチ番号
- 生産ロット番号
- 現場監視
- 監視カメラ

- 輸出要件

- 輸出申請書
  - 中国政府発行衛生証明書
  - 中国政府発行原産地証明書が必要になる場合がある
    - 40%以上の付加価値商品とする場合、又は4ケタの商品コードが変更された場合



# Import



# Traceability in China



raw material **Batch number**  
**7015J**

production **Lot number**  
**0709277015J**

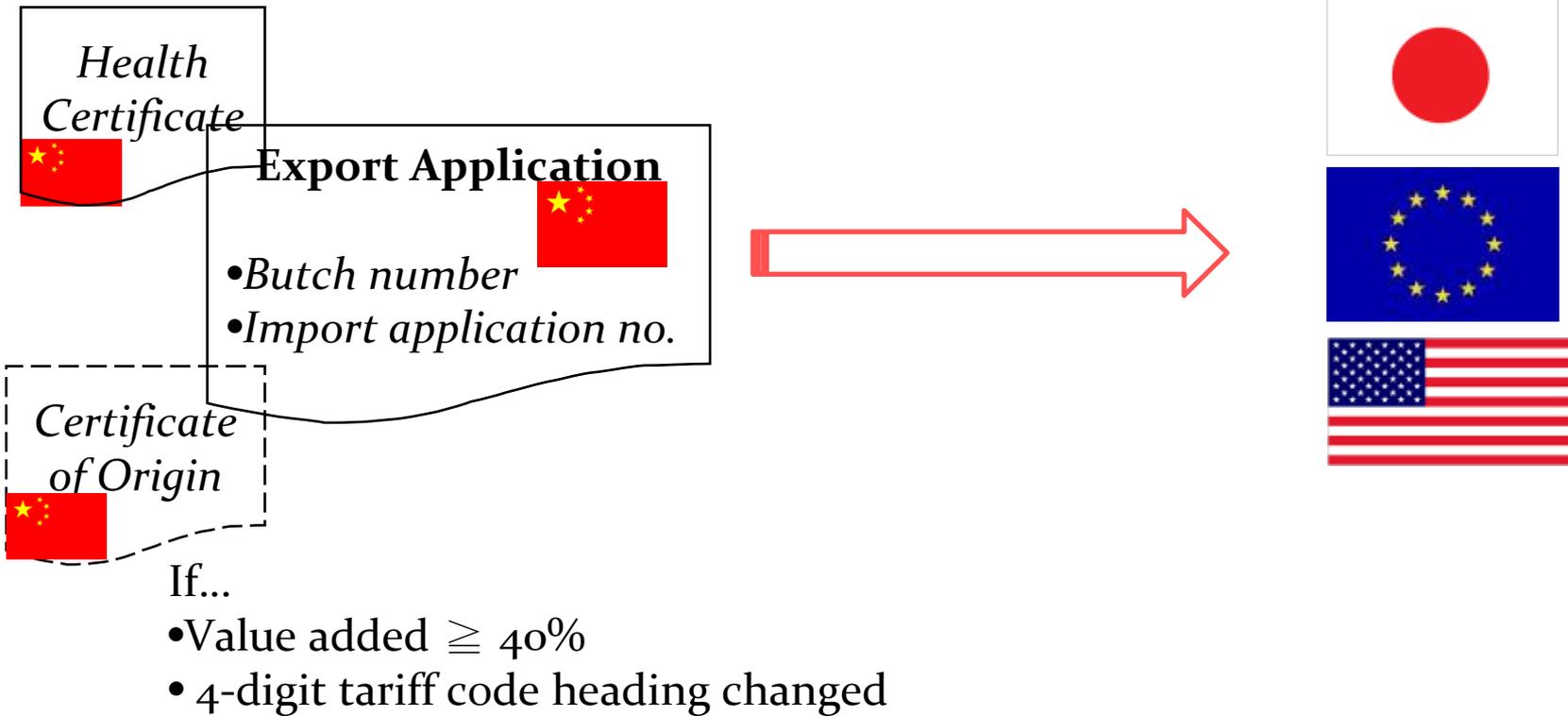
Same species  
Same commodity code  
Single import

date of production



Credit: C. Morrison

# Export



# 中国から輸入された水産加工品の 最終確認地 事例 EU

- EU規則 – EC97/78
  - 動物由来製品の全輸入
  - 指定港への入港
  - 健康状態、獣医によるチェック
  - 水産物はEU第三国事業所一覧(衛生局を備えた国々から認可された施設の一覧)に沿っての輸入に限る。

# EU入港時の標準的な船荷チェック

- 衛生証明書は真正か一輸入申告書と合致しているか
- 原産地証明書
- 送り状
- 梱包一覧一相違ないか
  - 箱数
  - 製品の形状
  - 原産国、製品生産番号
  - 書類の一致
- 入港証

# 即時警告

## 条件に満たない場合は物理的な監査

- 国家食品基準庁により：
  - CIQに輸出衛生証明書番号を通知；
  - TRACES（貿易統制エキスパートシステム）にてEU内に情報を発信する；
  - EU全域と関係する；
  - 相似製品について、次に続く10個の船荷の監査；
  - 送り主の信用照会、但し商品の生産会社である必要はない

# 中国のトレーサビリティシステム vs 国際規格－MSC

- 加工・流通過程のMSCエコラベル・チェーン
  - 原料バッチの統合
  - One step forward/one step backwardのトレーサビリティ
  - ラベル付け及び情報保存
- CIQが指定するトレーサビリティ必須条件を日頃遂行していなかったため、中国人が保持するMSC認証が取り消された例もある。
- CIQの監視を強化することでトレーサビリティを向上させることができる。

# NEAFC (北東大西洋漁業委員会) ポート・ステート・コントロール

- NEAFCでの全魚種
- 指定港への水揚げ
- 漁船の旗国から寄港国までの間の「合法的な漁獲」という確認
- サプライチェーンに沿って、合法的な水揚げという書類の添付はない。
- 書類の不足によって、IUU水産物が何かの理由で通過する可能性があり、通過許可された製品が「中国の合法的な製品」として市場に出回るおそれがある。

# ICCAT (大西洋まぐろ類保存国際委員会)

## 漁獲証明書

- クロマグロ
- 国内、又は国外の港に入港した全て
- 加工から再輸出までのあらゆる原料としてのマグロに関する漁獲書類の追跡
- 再輸出証明の発行

# IUU漁業に対抗するEU規定

- NEAFCとICCATの行動計画のコンビネーション
- EUに輸入されるすべての水産加工品は漁船の旗国より発行された漁獲証明書を添付することを義務化
- 加工品と漁獲証明書との関連性は、加工に関する書類又はRFMO（地域漁業管理機関）の再輸出証明に沿って記録しなければならない
- EU市場に出回る可能性のあるすべての原料となる魚について、漁獲証明書を取得、管理することを義務化
- 輸入と再輸出申請書を、漁獲証明書と連携させる機関と仕組みを考案すること
- 複数の加工業者が同一漁獲証明書を持つ原料を一部使用することができる

# トレーサビリティを 向上させるための中国への提案

- 水産物の輸出入の重要性に従い、主要な貿易相手に沿うようCCAは商品コードを改善する。
- CCAとCIQは、量と衛生管理責任の調整を統一されたトレーサビリティ・システムで一本化し効率化する。
- CCA又はCIQ（或いは両者とも）は、全サプライ/トレード・チェーンを通して漁獲認証書のための仕組みと必要条件を構築する。

# 中国のトレーサビリティ向上のため、 その他の機関への提案

- 漁獲認証手続きを実施する関係機関は、漁業を行っていくための新たな必要条件や有益な情報となるフィードバックに中国が従うよう、情報や資料を提供する仕組みを開発すべきである。

# Thanks!

[www.traffic.org](http://www.traffic.org)



**TRAFFIC** is a joint programme of  and   
the wildlife trade monitoring network